

生野区★中学生NEWS



いくみん



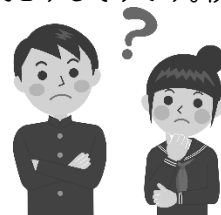
2学期は、本来なら行事の多い時期ですが、今年は新型コロナウイルス対策のために中止したり縮小したり、工夫をして活動に取り組んでいる様子が伝わっています。

「中学校生活の思い出」は与えられるものではなく、自分たちでつくるもの。歴史に残るこの1年、アイデアを出しあってできるチャレンジを！ 生野区長 山口照美

「with コロナの時代、今こそ自分の頭で考えよう！」

新型コロナウイルスで世界中が一気に変わりました。テレビ番組のリモート出演も当たり前になりました。そうすると、YouTube との差が無くなり、今度の番組改編では「20分」のバラエティ番組がたくさんスタートします。海外では自転車専用道路を慌てて作って、自転車通勤を勧めています。NY では外で授業をするそうです。校舎が焼けてしまった戦後日本の、青空教室のようです。感染しないためのアイデアですね。

今までの「常識」が崩れた時代にこそ、柔らかな頭を持ったみなさんが活躍する時です。学校で学ぶ知識は、自分の頭で物を考える時の基礎になります。



感染しないためには、感染する仕組みを知らなければなりません。ウイルスとは何か、ウイルスが死ぬにはどんな条件が必要か、空気に含まれるウイルスはどこまで飛ぶか、という理科、保健体育、また確率といった数学の知識も必要です。その上で「ウイルスが体に入らない状態」を保つ環境で、できることを考えます。IT を使いこなせば、できることの幅が増えます。広い空間を使うのも、感染防止に有効です。

指示やマニュアルをただ守るだけでなく、「なぜそのマニュアルで感染が防げるのか」を考える。情報源を確認し、論理的に考える習慣をつけてください。今後は、経済にも影響が出てきています。まちの変化を感じ、「なぜだろう?」と考えてから、検索や人に聞いて理由を探す「答え合わせ」をするのも考える力を鍛えてくれますよ!



読書のススメ

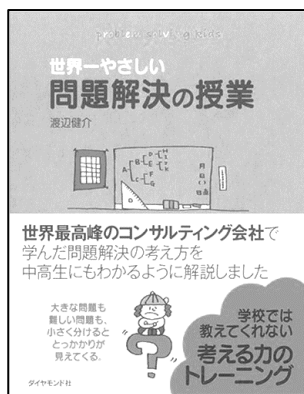
『世界一やさしい問題解決の授業』

渡辺健介/ダイヤモンド社

問題解決のためには、原因を見極めて、打ち手を考え抜き、行動してみる。それだけのことが、なかなか大人でもできないのが現実です。

身近な進路や友人関係の悩みも、この本の考え方で整理してみると、「大きな悩み」が「解決のためにやれそうなこと」に変わります。

本当に簡単な本ですが、考える力の基本が詰まっています。レビューに「高校生のとき自分の進路を決めたときに使った本です」とありました。おすすめです!



ちょこっとNEWS

生野のまちを盛り上げよう!

Creema×いくの みんなの文化祭

「Creema」というクリエイターが自分の作品をネットで販売するサイトがあります。このサイトと、生野区のものづくり企業やクリエイターがコラボして、「新型コロナ対策をしながら楽しめるイベント」や「生野区のおみやげになる商品」を、まちの人たちが企画しています。

中高生のボランティアも募集していますので、興味があれば、サイトをのぞいてみてください!



10代のための相談窓口まとめサイト

ミークス で 検索 <https://me-x.jp/>